

おぢや 会議所だより

OJIYA CHAMBER OF COMMERCE AND INDUSTRY

2023

7

JUL

No.559

第30回 会員ゴルフ大会開催

結果についてはP4へ



今月のピックアップ

- 令和4年度事業報告、収支決算 (P3)
- 4～6月期会員景況調査 (P6)

〈発行所〉

小千谷商工会議所

小千谷市本町2-1-5

TEL(81)1300 FAX(83)3632 E-mail:mail@ojiyacci.org 7月15日発行

HPはこちらからも！



最新情報はこちらから▶▶

小千谷商工会議所



URL: <https://www.ojiyacci.org>

通常議員総会を開催

去る6月23日(金)に通常議員総会が開催され、令和4年度事業報告(案)承認に関する件、令和4年度一般会計ほか8特別会計収支決算(案)承認に関する件について審議が行われ、すべて原案どおり可決承認されました。

また、総会の冒頭に表彰状の伝達がありました。



会員事業所表彰(創業100年)
株式会社わたや様



関東経済産業局長表彰
高野史郎様

令和4年度 事業報告

総括的概要

日本の経済は、令和4年3月にまん延防止等重点措置が解除されてからウィズコロナのもとで経済社会活動が進み、景気の持ち直しの動きがみられました。一方、ウクライナ情勢の長期化などが原材料・エネルギー価格の高騰を招き、業界全体に深刻な影響が及びました。8月には約1カ月間のオミクロン株B.A.5強化宣言が発令されるなど、先行きが見通せない1年でした。このような状況において、当所は会員支援のため以下の各種取組を行ってきました。

①飲食業、観光業、運送業、サービス業、小売業を中心に、「第4弾おちやプレミアム商品券」、「第2弾おちや食べ得チケット」を実施して消費喚起と需要拡

大に努めました。②「チャレンジサポート事業」を実施し、県チャレンジ補助金の採択者へ支援金を支給しました。③資金繰り支援、販路開拓を目的とする小規模事業者持続化補助金活用の相談対応、各種補助金の申請支援を行いました。④タブレット端末を購入し、会員巡回訪問等、いつでも支援できる環境を整えました。⑤会員ゴルフ大会、会員大会・新春賀詞交歓会を規模縮小して開催しました。

要望活動では、コロナの長期化とウクライナ危機に起因する原油高で収益確保が難しいなか、中小・小規模事業者への人材確保と産業の育成・支援、経済社会活動の早期回復に向けた対策を小千谷市へ訴えました。

令和4年度 主要事業の取組について

1. 商工業振興に関する事業

- ①市の委託「第4弾おちやプレミアム商品券」事業、「第2弾おちや食べ得チケット」事業による地域振興支援
- ②県の補助事業を活用した「小千谷うまいもの市」実施による消費喚起と需要拡大支援
- ③当所独自の「チャレンジサポート事業」の実施により県の新事業チャレンジ補助金採択者を支援

2. 小規模事業者等支援に関する事業

- ①マル経融資、記帳指導、専門家派遣、補助金の申請支援、講習会、相談会を実施
- ②伴走型小規模事業者支援推進事業に係る「うまし逸品商談会」等を実施
- ③第3期経営発達支援計画の国認可(令和5年～9年)

3. 労働、教育、福祉に関する事業

- ①新入社員セミナーを開催
- ②簿記検定、珠算検定、各種検定試験を実施

4. 会員サービスに関する事業

- ①会員ゴルフ大会(プレーのみ)、会員大会・新春賀詞交歓会(人数制限)を実施
- ②会議所だより、市民向け会報「おちや会議所だより-市民版-」を発行
- ③各種共済制度の加入促進

5. 組織運営に関する事業

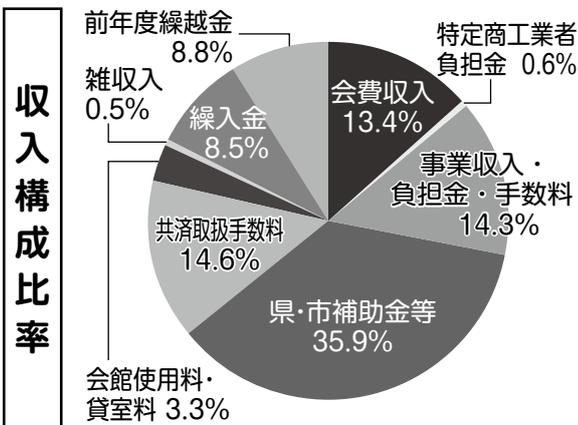
- ①役員議員改選で、高野史郎新会頭のもと新体制がスタート
- ②タブレット端末を購入し、巡回指導等でデジタル化を図る

6. 要望活動と関係機関との連携事業

- ①図書館等複合施設竣工に合わせた地域活性化をテーマに、市管理職と当所役員との経済懇談会を開催
- ②小千谷市に対して、6項目から成る「小千谷市政に対する要望書」を提出し、現状認識と救済を訴える
- ③トルコ・シリア大地震の被災地支援のため、会員93件、215万円の義援金を日本赤十字社へ全額拠出

令和4年度 収 支 決 算

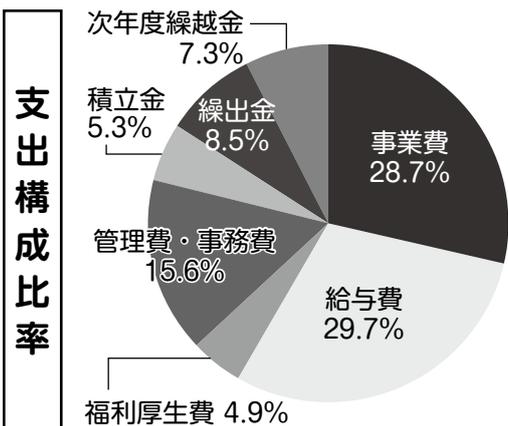
●一般会計・事業7会計



収入の部

(単位：円)

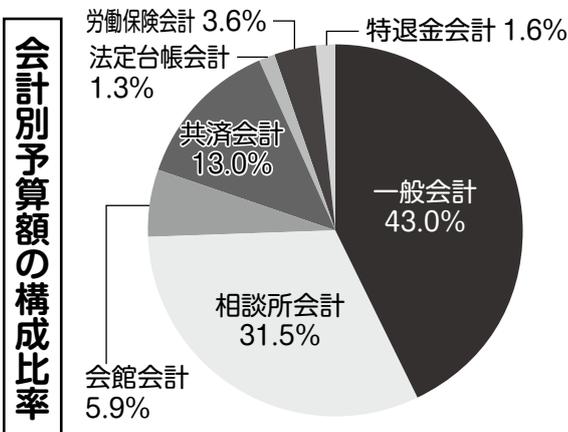
会 費 収 入	13.4%	18,361,500
特定商工業者負担金	0.6%	881,600
事業収入・負担金・手数料	14.3%	19,613,848
県・市補助金等	35.9%	49,069,334
共済取扱手数料	14.6%	20,001,854
会館使用料・貸室料	3.3%	4,548,343
雑 収 入	0.5%	656,571
繰 入 金	8.5%	11,558,774
前 年 度 繰 越 金	8.8%	12,063,701
合 計	100%	136,755,525



支出の部

(単位：円)

事 業 費	28.7%	39,296,349
給 与 費	29.7%	40,606,269
福 利 厚 生 費	4.9%	6,727,354
管 理 費 ・ 事 務 費	15.6%	21,381,787
積 立 金	5.3%	7,249,670
繰 出 金	8.5%	11,558,774
予 備 費	0.0%	0
次 年 度 繰 越 金	7.3%	9,935,322
合 計	100%	136,755,525



会計別予算

(単位：円)

一 般 会 計	43.0%	58,846,350
相 談 所 会 計	31.5%	43,066,841
会 館 会 計	5.9%	8,115,688
共 済 事 業 会 計	13.0%	17,798,476
法 定 台 帳 会 計	1.3%	1,797,401
労 働 保 険 会 計	3.6%	4,876,539
特 退 金 会 計	1.6%	2,254,230
合 計	100%	136,755,525

● 2 積立金会計 退職給与積立金会計 9,646,188円 財政調整積立金会計 83,798,025円

※当所ホームページにて令和4年度事業報告書・収支決算報告書の全体をご覧いただけます。

6月常議員会を開催

6月13日(火)、当所において常議員会が開催され、(1)6件の新規会員加入、(2)令和4年度事業報告(案)並びに収支決算(案)、(3)令和5年度収支補正(案)、(4)顧問委嘱について、(5)参与委嘱について、(6)通常議員総会議事日程について審議を行い、いずれも原案どおり可決承認されました。

また、報告事項として、議員の委嘱変更について事務局より説明がありました。

第16回 おぢやまちゼミ開始!!



おぢやまちゼミ運営委員会(小川和幸委員長)では、**7月20日(木)~8月20日(日)**の期間で第16回おぢやまちゼミを開催いたします。27事業所による全37講座となっております。

7月10日(月)より受付開始となります。たくさんの方からご参加をお待ちしております。詳細については7月8日(土)発行の新聞折込みチラシやおぢやまちゼミInstagram、商工会議所HP等をご確認ください。



〈お問い合わせ〉

事務局 小千谷商工会議所 TEL: 81-1300

第30回会員ゴルフ大会開催しましたよ

6月10日(土)に小千谷カントリークラブにて、会員ゴルフ大会を開催しました。当日は定員を超える134名(男性117名、女性17名)の会員よりご参加いただきました。

また、大会終了後にはコロナ禍でここ数年行えなかった表彰式・懇親会をサンブラザにて実施し、成績が発表されるたびに歓声があがり、参加された皆さまも最後まで交流を楽しまれていました。

(敬称略)

順位	氏名	事業所名	グロス
優勝	郷 秀光	㈱日乃出輸送	80
準優勝	西巻 春雄	ユキワ精工㈱	81
3	竹内 和孝	竹内製菓㈱	98
4	久住 正樹	㈱大光銀行小千谷支店	89
5	小林 勇貴	㈱K-WORKS	101
6	江口 剛史	BAR Star Horse	101
7	大淵 敏明	大淵土地家屋調査士事務所	92
8	安部 功	㈱安部技研	92
9	宮木 義信	㈱ミヤキ	78
10	丸山 裕幸	K R新潟	79
◆ベストグロス賞	和田 綾子	焼肉酒場 楽笑	75



▲小千谷カントリークラブ賞を受賞した中村大さん(米忠商店)



▲レディース優勝された和田綾子さん(焼肉酒場楽笑)



- 住所：小千谷市三仏生2533番地
- 電話：82-0535
- ホームページはこちらから →



秀和建设(株)は、小千谷市で数少ない経済産業省認定の健康経営優良法人で、市内では最も早く、2019年から本格的な取組を行っている。伴雅史代表取締役社長ならびに経営サポート部の細員さんにお話を伺った。



▲お話を伺った伴社長。「安心して働ける会社を」と語ってくださいました。

2019年に健康経営宣言、2020年から優良認定法人に

健康経営とは？

社員の健康を経営的投資と捉え、健康促進に積極的に取り組む企業経営スタイルのこと

<健康経営に関する顕彰制度>
にいがた健康経営宣言

- ・健康経営優良法人制度
- ・にいがた健康経営推進企業
- ・新潟市健康経営認定制度

社員の健康づくりには以前から取り組んでおり、さらなる促進を目指すために、社員の健康改善に繋がる施策や取組を設定し、健康経営宣言を行いました。その後、もともとの取組に足りない部分を補い、経産省に申請して2020年から健康経営優良法人として認定していただいています。

セミナーやレクリエーション、職場復帰支援など取組はさまざま



▼バスケットボール大会の様子。60歳以上の人がゴールすると得点2倍の特別ルールつき。

仕事と介護の両立セミナーを開催したり、社員の運動機会をふやすためにレクリエーションを開催したりしています。今年はバスケットボールを行いました。

また、体調を崩して休職した社員には、復帰後は就業時間を短縮して負荷の少ない業務から取り組んでもらうなど、復帰しやすい体制を整えることで復職率100%を達成することができました。大事な社員に長く勤めてもらえる環境を整えることは重要だと考えています。



▲メンタルヘルスケアとして、年2回、全社員と面談を行っている。

会社説明会でも学生から反応が

健康経営優良法人に認定していただいたことで、ロゴを目にした学生から、具体的にどんな取組をしているのかと質問してもらえるようになりました。仕事と私生活の両立が重視される中、働きやすさの面で興味を持ってもらえることは強みになっていると思っています。

あと、こんなふう取材の依頼が来るようになりましたね(笑)取組を知ってもらうために、目に見える形にするのは大切なことだと感じています。

*健康経営宣言などによって目に見える形にすると、社内での取組により説得力を持たせてくれます。社員の健康づくりに既に取り組んでいる事業所も、せっかくならあと一步踏み出して、健康経営宣言まで取り組んでみてはいかがでしょうか。

【経営者のための健康経営セミナー】 — 社員の健康が企業を活性化 —

日時：7月26日(水) 13:30~15:00
場所：小千谷商工会議所3Fホール
定員：20名(定員になり次第締切)
講師：瀬戸 美紀 氏
事例発表：秀和建设(株) 詳細はQRコードから→



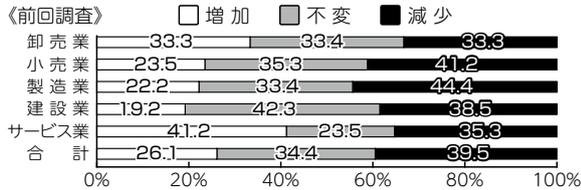
令和5年4月～6月期間

会員景況調査結果

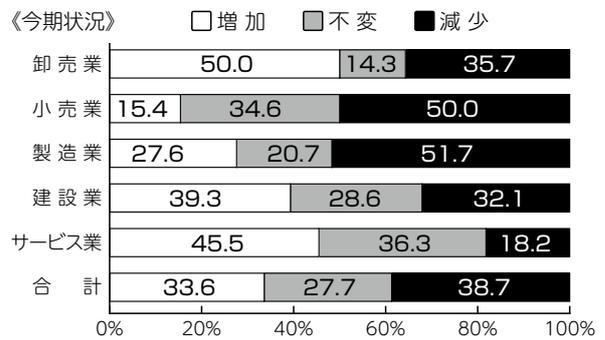
- ◇ 調査対象 会員企業のうち、卸売業・小売業・製造業・建設業・サービス業
- ◇ 調査対象期間 令和5年4月～6月期の実績及び令和5年7月～9月期の見通し
- ◇ 回収状況 128企業のうち、119企業が回答（回答率93.0%）

※令和5年度から、飲食店を「サービス業」として分類します（旧分類：小売業）

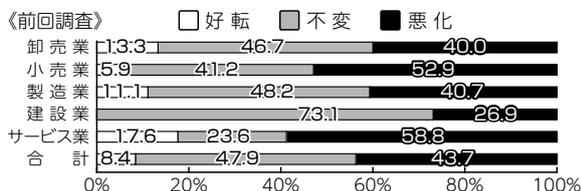
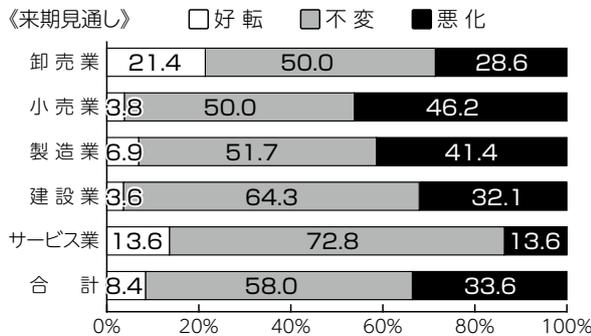
今期の売上高の動向は、全業種を平均した前年同期比で「増加」の企業割合は33.6%、「不変」の企業割合は27.7%、「減少」の企業割合は38.7%となった。前期より「増加」の割合が増え、「不変」の回答割合が減少した。原材料やエネルギーの価格高騰は続くものの、コロナ感染症の落ち着きからか明るい兆しが見える結果となった。



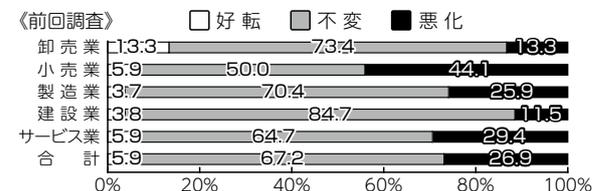
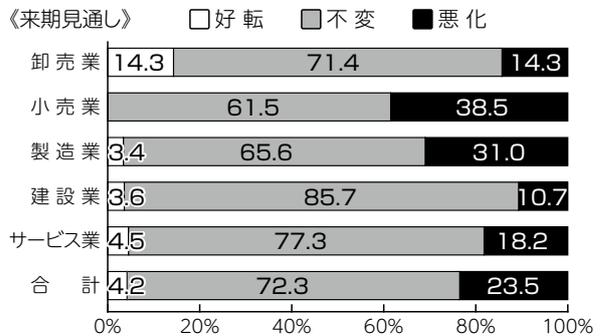
売上高の動向(前年同期比)



経常利益の見通し(前年同期比)



資金繰り見通し(前年同期比)

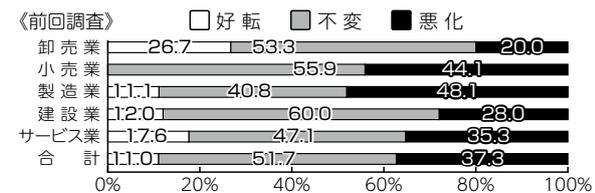
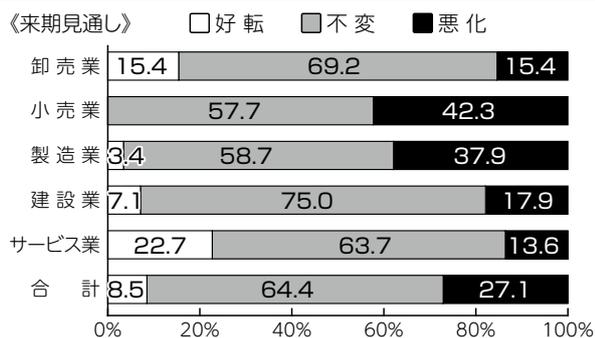


小千谷ロータリークラブ

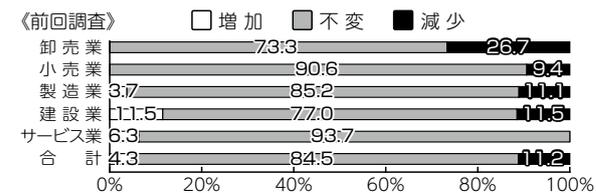
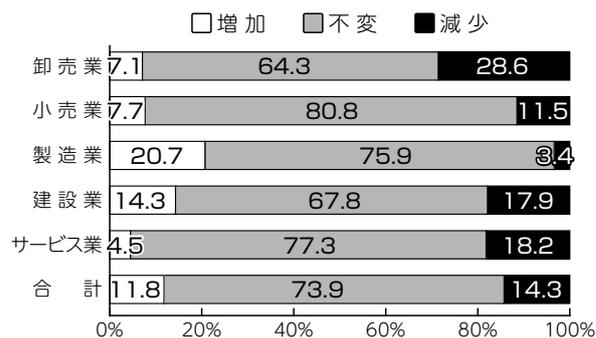
「世界に希望を生み出そう」

- | | |
|------------------------|----------------------------|
| 会長 星野 宗高〔株研電舎〕 | S A A 酒巻 和男〔ユキワ精工(株)〕 |
| 会長エレクト 村田 正〔(有)村田農機商会〕 | クラブ奉仕 位下 寿生〔(株)位下印刷〕 |
| 直前会長 藤澤 博忠〔(株)藤沢電機〕 | 職業奉仕 平山 哲也〔東日本旅客鉄道株信濃川発電所〕 |
| 幹事 村田 正〔(有)村田農機商会〕 | 社会奉仕 青柳 功〔(株)アオヤギガーデンプラン〕 |
| 副幹事 牧野 和也〔(株)伊藤工務店〕 | 国際奉仕 山崎 亮太郎〔山崎醸造(株)〕 |
| 会計 小見山 紘喜〔(株)小千谷新聞社〕 | 青少年奉仕 廣井 充〔(有)廣勘不動産〕 |

業況の見通し(前年同期比)



従業員の變動(前年同期比)



業種別概況

業種	業種別概況			
卸売業	1位 (27.3%) 仕入単価の上昇	1位 (27.3%) 従業員の確保難	3位 (18.2%) 人件費以外の経費の増加	3位 (18.2%) 事業資金の借入難
	《コメント》 天気に左右されがちなので、温暖化による荷物の集中と相場安で頭が痛い。(青果) コロナ感染症の5類移行により流れは変わってきているが、コロナ禍前の同時期比較では売上が8割弱程度である。(飲料)			
小売業	1位 (26.7%) 仕入単価の上昇	2位 (20%) 消費者ニーズの変化への対応	3位 (13.3%) 従業員の確保難	
	《コメント》 水道ガス光熱費の値上がりが一番の痛手で、転嫁も困難。(食品) 仕入単価が上がり、利益率が悪くなっている。価格転嫁すると顧客が大手に流れてしまう。(食品) 、同じ商品が年に2~3回値上げする事もある。商品仕入の送料を値上げした所もあり、売上に響く事も。(被服飾)			
製造業	1位 (25.0%) 需要の停滞	2位 (20.8%) 従業員の確保難	3位 (12.5%) 人件費の増加	
	《コメント》 材料費アップを単価に反映させてもらえる取引先は多いが、電気料金、工具費、油などの消耗品の上昇分の価格転嫁が困難。(鉄工) 複数社から受注が減っている。(鉄工) 半導体関連の落ち込みが著しく、今年度中は回復の見込みがない。(部品製造) 人手不足(被服飾) 人口減少、生活様式変化(家具等)			
建設業	1位 (43.5%) 従業員の確保難	2位 (26.1%) 材料価格の上昇	3位 (8.7%) 民間需要の停滞	
	《コメント》 従業員の高齢化、受注工事の激減。(総合) 小千谷市の建築住宅戸数はR5年1~4月末現在で、県統計で前年比60%。住宅リフォーム補助金が継続でお客様の関心が非常に高い。大型リフォーム物件が今年は新築より多い。(建築) 経費の増加に関して、現在まで自社内で処理してきたが、今後は販売価格に転嫁していく。(内装)			
サービス業	1位 (35.3%) 材料等仕入単価の上昇	2位 (17.6%) 利用者ニーズの変化への対応	3位 (11.8%) 従業員の確保難	
	《コメント》 販売車両の高騰と納期遅れ、それに人口減によるものとで販売量が伸びない。(車両) エネルギー価格の高騰、それに伴い原材料価格の値上がりから利益を予想しづらい。(宿泊) 法事のお斎が少なくなり、折の仕出しに変わり数も少ない。(飲食店) 材料等全てが値上がりし、5月の連休明けから苦しい状況。(飲食店)			

小千谷ライオンズクラブ 「友愛と相互理解の精神で、心を一つに、共に奉仕の道を行こう」

会長	L. 和田正樹	〔株)わたや〕	会計	L. 星野賢治	〔株)ソニックジャパン〕
直前会長	L. 金子敏明	〔KDデザイン室〕	副会計	L. 高野富士子	〔高野板金(株)〕
第一副会長	L. 山田豊	〔有)山長〕	テールツイスター	L. 渡邊克吉	〔株)渡吉〕
第二副会長	L. 平澤和孝	〔キャットハンド〕	副テールツイスター	L. 吉田桂子	〔有)ワイシー(もみ俱樂部)〕
幹事	L. 佐藤亨	〔三仏生繊維(株)〕	ライオンテーマ	L. 宮川洋祐	〔株)魚沼電子〕
副幹事	L. 本田和憲	〔有)片貝煙火工業〕	副ライオンテーマ	L. 鈴木秀信	〔株)鈴木建築〕



廃業を決める前に事業承継について考えてみませんか？

個人事業主や小規模企業にも 後継ぎを社外に求める「M&A」 という選択肢があります！

Q. 「M&A」とは？

M&A（エムアンドエー）は、『Mergers（合併）and Acquisitions（買収）』の略です。一般的にM&Aという場合、「会社もしくは経営権の取得」を意味します。M&Aの主な手法としては株式譲渡、事業譲渡、合併、会社分割があります。

Q. 個人事業主や小規模企業でも？

個人事業主や中小零細企業にとって「後ろめたい」「恥ずかしい」と思われがちなM&Aも、最近では事業承継の選択肢の一つとして活用が広まってきました。特にマッチングサイトの普及に伴い、中小企業や個人が行う小規模なM&Aが増えています。M&Aは、「後ろめたい」「恥ずかしい」ことではありません。事業を譲受する側（買い手）が、その事業の価値を認めてはじめて成立するのですから、事業を譲渡する側（売り手）にとって、これまで培ってきた事業の価値が認められる誇らしいことです。



Q. M&Aのメリットは？

培ったノウハウや人材を活かして事業を存続できます。従業員を解雇しなくて済みます。また、法人がM&Aで株式譲渡（会社売却）する場合、買い手には資産とともに負債（借入金など）も承継されます。創業者利益（売却益）としてまとまった資金を得ることができるだけでなく、負債から解放されるので、引退後の生活も安心です。

Q. 莫大な費用がかかる？

一昔前まで、M&Aは大企業が経営戦略の一環で取り組むものと見なされ、手数料も高額でした。しかし、ネットでのマッチングが普及したおかげで劇的な価格破壊が実現。M&Aマッチングサイト（プラットフォーム）を利用した場合、着手金なし、成功報酬のみといったケースが多く見られます。

Q. どうやって進めればいいのか？

事業承継の課題は幅広く、多岐にわたります。M&Aを実施するにあたっては様々なポイントを検討する必要があります。そして、準備が早ければ早いほどより良い条件でのM&Aが可能になるのです。まずは身近な支援機関に相談しましょう。小千谷商工会議所では、新潟県ならびに新潟県事業承継・引継ぎ支援センターと連携して中小企業の事業承継を支援しています。



「小千谷商工会議所 事業承継個別相談会」(無料)

(M&Aだけでなく親族内承継、第三者承継も)

8/7(月)・9/5(火)・10/13(金)・11/16(木)・12/8(金)・1/15(月)・2/13(火)

13:00~16:00の1時間(要予約) 相談員:新潟県事業承継・引継ぎ支援センター

お申込み・お問合せ:電話0258-81-1300



共済・福祉制度キャンペーンに ご協力いただき ありがとうございました

5月1日～6月30日に実施いたしました当所職員とアクサ生命推進員との共済推進活動では、会員の皆様よりご多忙中にもかかわらず、ご協力を賜り誠にありがとうございました。

特定商工業者法定台帳の 確認及び負担について同意のお願い

先般、当所より送付させていただきました『法定台帳の確認と負担の同意』につきまして、お早めにご回報くださいますようお願い申し上げます。(台帳に相違がない場合におかれましてもご回報ください。)

ご不明な点がございましたらお気軽にお問合せください。

小千谷商工会議所 法定台帳担当 ☎81-1300

8部会の総会・ 幹部会を開催中

小千谷商工会議所では、6月26日(月)の工業部会を皮切りに、6～7月に各部会の総会や幹部会を開催しております。

今回の会議では部会員の皆様へのアンケート結果を基に、新型コロナや原材料・エネルギー価格の高騰、人手不足などにより厳しい経営環境に置かれている商工業者の課題や対策、行政への要望等について活発な意見交換を行いました。

今後のスケジュールとしては、部会ごとの要望事項を取りまとめた後、正副会頭会議や常議員会でも議論を重ね、秋頃には商工業界を代表して小千谷市に要望書を提出する予定となっております。

また、今年度の部会事業についても検討が行われ、コロナ前以来となる県外への視察研修等も検討されております。事業実施の際は多数のご参加をいただきますようよろしくお願いいたします。

2023年6月期

全国商工会議所早期景気観測

会報本誌に掲載

会 員 情 報

6月末会員数 942

■新規会員

オフィス・イマココ

西畑 良俊 真人 人材育成

テコイレ

和田 桂佑 平成 コンサルティング

しあわせパン ぱーぐ

吉井 季知 片貝 パン製造・販売

(株)JSファンダリ

岡田 憲明 千谷 半導体製造

DIAL HOUSE

金子 和文 池ヶ原 飲食業

■代表者変更

(有)池田産業 (新)池田 潤子 (旧)池田 清

(株)水落内装 (新)今井 義弘 (旧)南雲 武夫

■所在地変更

(有)やまだ(魚新)

(新)小千谷市元町16-2 (旧)小千谷市本町1-1-1

代表者の変更や連絡先等の事業所情報に変更がございましたら、当所までご連絡くださいますようお願い申し上げます。

会議・行事の予定

※下記予定は変更となる場合がございます。

7月

3日(月)	正副会頭会議
3日(月)	女性会 大会実行委員会・正副会長会議
3日(月)	おぢやまちゼミ交流会
4日(火)	観光・サービス部会総会
5日(水)	インボイス制度個別相談会
7日(金)	小売商業部会総会
7日(金)	補助金対応個別相談会
12日(水)~13日(木)	青年部視察研修
13日(木)	よろず相談会
14日(金)	事業承継個別相談会
18日(火)	中小企業・小規模事業者支援連携会議
19日(水)	~20日 日商委員会
20日(木)	インボイス制度個別相談会
20日(木)	補助金対応個別相談会

8月

1日(火)	正副会頭会議
4日(金)	産学交流研究会
4日(金)	インボイス制度個別相談会
7日(月)	事業承継個別相談会
8日(火)	北陸地方整備局意見交換会
8日(火)	補助金対応個別相談会
10日(木)	よろず相談会
23日(水)	インボイス制度個別相談会
23日(水)	補助金対応個別相談会

ITを事例からひも解く

「2倍の給与を出せる業界に!

原価管理の積み重ねで起きた変化」

IT経営マガジン
「COMPASS」編集長 石原 由美子

「給与を上げて社員の待遇をよくしたい」——多くの経営者の願いですが、生産性を高め、適正な利益を確保することが前提となります。

富山県の鉄筋工事業・旭鉄筋では、1つずつ異なる工事が赤字か黒字かを把握するため、原価管理に取り組んできました。コツコツと継続してきた結果、経営基盤を強化することができ、現在は業界全体の待遇改善を目指しています。

採用情報に書かれている給与は「月給」制。富山県で鉄筋工事業を営む旭鉄筋株式会社は、地域の同業者がまだまだ「日給」で人材募集をしているなか、月給制、さらに週休二日制を導入している。

「受注に波がある建設業では、固定給の場合、仕事が少ないときは経営が苦しくなるリスクもあり、なかなか踏み切れていません。しかし、人手不足が進み他の業界と人材の取り合いになれば、「日給」というだけで、求職者からはじかれてしまうでしょう。業界を挙げての課題なのです」

代表取締役社長の井本秀治氏は、「入りたくなる業界」となるべく、待遇面を整えると同時に学生へのPRコンテンツ、動画など情報発信にも力を入れている。

同社は15年ほど前に、工事の原価を把握するITシステムを導入。日報にその日の業務を記録することからスタートし、独自のシステムを構築した。鉄筋そのものは発注者であるゼネコン(総合建設会社)から支給されるため、鉄筋の加工や工事の人件費、移動の経費などを原価として計算する。「1年が終わるまで利益状況がよくわからない」状態を脱出し、赤字受注の回避を目指した。

こうしたシステムは、スタッフ全員が作業時間等を毎日

正確に入力することが前提となる。

「今では現場から戻ったら記録するのが当たり前になりましたが、慣れるまでは時間がかかりました。記録を忘れた人がいるとデータが不正確になりますから。途中、諦めそうになったこともあります。顧問をお願いしているITコーディネータの方が、都度、『何を実現するために原価管理システムを導入したのか』を確認してくれたのが大きかった」と井本社長は振り返る。

原価管理を徹底してからは、データをもとに価格交渉を行うこともある。「ただお願いするよりも、数字で詰めていくと納得していただけます」という。

社員に毎月安定的に給与を支払うには、どんぶり勘定ではなく、適正な利益を確保していくことが欠かせない。「目的」に向かってシステムを使い続けてきたことが、旭鉄筋の力になっている。

さらに、工事の見積書を出すための積算(工事に関わる材料や人などの費用を積み上げる)作業の効率化を図るため、アーキテック社の「拾之助」を導入した。鉄筋工事の図面情報に基づいて寸法等を入力すると、積算に必要な部材を拾い出して重量などを自動積算するソフトウェアだ。導入後は、見積書の作成時間を以前の5分の1に短縮できた。

「高度経済成長期は、職人の給与は高かったのです。建設業は今の1.5倍、2倍の給与を出せるような業界でありたい。そこを目指しています」

井本社長は、さらなる成長と業界全体の待遇改善を目指し、鉄筋を加工する工場の拡張なども検討しながら、コツコツと「攻めの経営」を推進している。

【事例からヨミトル】

- ・受注一つひとつに対して、利益を把握するためにITシステムを活用し、原価管理をしておきましょう。次の見積作成や交渉に役立ちます。
- ・システム導入のときはもちろん、運用を成功に導くためにも、ITコーディネータなど専門家の活用は有効です。
- ・魅力ある職場・職種として選ばれるために、取り組むべき優先課題を見いだしましょう。

インフォメーション ～お役立ち情報～

※詳細はお問合せ先にお電話していただくか、該当するホームページ等でご確認ください。

発信者・件名	主な内容	お問合せ先
【厚生労働省】 「適切な労務管理のための労働契約等に関するルールの定着」事業について	<p>厚生労働省では、労働者や事業主、人事労務管理担当者を対象として、労働者と使用者をつなぐルールである「労働契約」を解説するセミナーを、計71回程度オンライン形式で開催します。</p> <p>講演内容は「労働関係法令の基礎」や「無期転換ルール」、「副業・兼業の促進に関するガイドライン」について、概要や取組のポイントを専門家が解説するセミナーで、セミナー終了後、個別相談会も実施されます。</p>	【厚生労働省】 適切な労務管理のための労働契約等に関するルールの定着」事業 HP https://roukeiseminar.mhlw.go.jp/
【新潟県】 新潟コメジルシプロジェクト応援企業・団体の募集について	<p>新潟県では令和2年より県民の皆様へ新潟の多様な魅力を見つめ直し、積極的に発信していただく「新潟※（コメジルシ）プロジェクト」に取り組んでいます。</p> <p>このたび、新潟の魅力の発信を促す取組を積極的に推進していただける企業・団体等を応援団として募集することとなりました。以下の取組を行う企業等を想定しております。</p> <p>(1) 県主催事業への共催・協賛 (2) 応援団主催の魅力発信の取組 (3) プロジェクト認知拡大・魅力発信等への協力</p> <p>「応援団」となった企業等に対して、新潟県の広報媒体を活用した活動の紹介などを行う予定です。また、「応援団」は、新潟コメジルシプロジェクトのキャラクターである「コメジルシくん」やロゴを企業、団体等のホームページやSNSにてご活用いただけます。</p>	【新潟県】 新潟コメジルシプロジェクト HP https://howtoniigata.jp/komepro/
【経済産業省】 「化学物質管理セミナー 2023」の開催について	<p>この度、経済産業省は「特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律（化管法）」に基づくPRTR制度及びSDS制度（SDS・ラベルの作成）に関する「化学物質管理セミナー2023」を開催します。</p> <p>本セミナーでは、化管法の概要（PRTR制度、SDS制度）、2023年4月に施行された新たな対象物質に関連する改正政省令の内容など、化管法対応のポイントを紹介するとともに、化学物質を取扱う事業者に関係の深いSDS・ラベルの作成、リスク評価等について解説します。</p> <p>第1回 実務編：7月20日（木）13：00～16：45 第2回 基礎編：7月26日（水）13：00～15：30 第3回、第4回：秋以降に実施予定 ※秋以降に【オンデマンド配信】も実施する予定</p>	【経済産業省】 経済産業省HP 化学物質管理セミナー2023の開催について https://www.meti.go.jp/policy/chemical_management/law/information/seminar2023.html

経費の見直ししませんか？

火災共済

- 決算後の剰余金は組合員に還元します。
- 口座振替でご利用しやすくなります。

傷害共済

- 業務中・業務外を問わずケガを補償します。
- ご利用しやすいお手頃な月額掛金
 傷害共済B型：880円、W型：910円

自動車共済

- 団体割引10%を適用します。
- 24時間365日安心のロードアシスタンス
 (補償先：関東自動車共済協同組合)

資料請求・契約内容の見直し・掛金のお見積りは、
 商工会議所または当組合にご相談ください。



新潟県火災共済協同組合 TEL (025) 201-6502

〒951-8063 新潟市中央区古町通七番町1010番地 古町ルフル9階



脱炭素化相談窓口のご案内

県では、「新潟県事業者支援脱炭素推進プラットフォーム」を設立し、県内中小事業者等の脱炭素化の取組を支援しています。

この取組の一環として、県内の中小事業者等を対象に、脱炭素化に関する「新潟県事業者支援脱炭素化相談窓口」をNICO内に設置しました。

脱炭素化に関するご相談に幅広く対応しますので、お気軽にご相談ください。

- 脱炭素経営に取り組みたいが、何をしたらいいかわからない
- 省エネ診断の概要や進め方について知りたい
- 省エネ設備を導入したい
- 再生可能エネルギーを活用したい
- 設備投資に関する補助金の情報を知りたい
- 取引先からCO2削減を求められているが、何をしたらいいかわからない

NICOの専門家が
アドバイスします

相談窓口（相談無料）の概要

1. 相談できる内容

省エネルギーによるコスト削減や再生可能エネルギー活用に関するアドバイス、公的支援策等の紹介など脱炭素に関する相談全般。

※アドバイスや情報提供のみを対象とし、省エネ診断等の具体的な相談は別途ご相談となります。

2. 相談受付

専門家は非常勤のため、ホームページに記載の相談予定日時の中から日程を調整します。

相談は事前申込が必要です。相談申込書（裏面又はHPからダウンロード）に必要事項を記入し、お申込みください。

申し込み受付後、相談内容の確認および日程調整等のご連絡を差し上げます。

3. 相談予定日

原則、毎週木曜日を予定しています。相談予定日を毎月更新していますので、ホームページにてご確認ください。

4. 相談時間

①10:30～12:00 ②13:00～14:30 ③14:30～16:00

※上記時間のうち、1回あたり60分程度

相談予定日の1週間前までにお申し込みください。

日程調整の結果、ご希望に添えない場合がございますので予めご了承ください。

問合せ先

公益財団法人にいがた産業創造機構 経営革新支援チーム
〒950-0078 新潟市中央区万代島5番1号「万代島ビル」9階
TEL: 025-246-0056(直通) FAX: 025-246-0030 E-mail: datsutanso@nico.or.jp
受付時間9:00～12:00/13:00～17:00(土日、祝日、年末年始を除く)

事業ホームページ

